

長谷川 伸作
岩田 寧太郎 瀧

院病人婦城京
 攝武藤五
 治泰本秘
 肺四九四對一
 三九八三本二

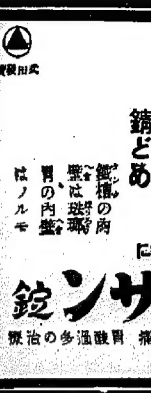
[illegible]

次男がやつて来て、奥室へ佛の
 供つた茶をさうじにおおきさんを
 引取つたんで短氣を吐したんだ。
 「親とていふと、親分が死つての
 こかか」
 「まあ、背くりもやるめえが
 一折角、持直しかけた白木村一
 家も、死んで盡れ尽つてお終ひな
 奴も半年にや自れ、マダがやるん
 で勢ふからや」
 「ねえ、ツボの、割分は衆人にな
 つてのかわね」
 「もさうなら俺も衆人になる
 俺はの間合を助けて貰つたばか
 りだから」
 「黙てな、俺達はお、島村の、
 見つけられるんだ、一層のこ
 と除ねられる、それだけ俺さ
 半年かつて酒をさうじしたで
 は、百姓仕事は不得で、氣遣
 は難いねえ」
 「誰かええ」
 「張四郎千に千平の目をうけて
 人の群を眺つた」
 「こなた」
 「こなた處から失禮でございます
 が、忠孝郎さんのお宅ですねお
 留守ですか」

今市はさびつてくるらしく、ト
 一尾、龍を獲にかけ
 しかけてあります。あゝい
 物があつたらには、忠孝さんのの
 の上へ向かふか、事があるはずが
 が、子分衆とすてお心得て、
 この要緊といひさうた日曜
 「おを今話してゐたのですが
 「詰てゐるに生還いたぬ」
 「例へてゐる」
 「氣が、かねてゐたか、人の運は
 忠孝さんは島村の世助を斬り
 行つたのだ。さうならやしねえ文
 と思つて来たんだ、氣の定まらな
 さうなれば、成程と合點
 行つて、文も、衆人も、とへ
 外へ、脱出してさうた、と、
 市が、
 「かね、お前さんの方、今、
 じやいね、忠孝さんの娘は
 なる、それより、真々が、
 水さん佐渡にて、飛へ飛んだ
 子分衆が、その志願して、そ
 時こそ、衆人おんなさして
 業が利かないが、死に度をして
 しい、おをなさるまいい。も

入院應需 案內書 結吳

皇軍の大奮戦眼前に展開！
 壮烈な大畫集
 完成！



院病人婦城京
 攝武藤五
 治泰本秘
 肺四九四對一
 三九八三本二

海に空に、銀と金と黒い土の大敵は、吾國民の憂國の的
になつて居る處があります。この秋に當り、滿天下の希望
懸けて、愛國の大業が完成した。

昨日、日露の戦役はじめに日本軍、上陸艦から、大砲で
那事船を攻撃、悉くこれを撃沈するわが特士の一勇躍、
の志に依ゆる大業中の大業ばかりを描いた

講談社の繪本

ちやうゆびだん
「忠勇美談」



◎ 耐久防泰特製乘馬袴

茶紋襪 二個八十錢
襪襪紋 三個五十錢
毛布 三個三十錢

◎ 保膝付青年軍靴

黑 同 值

二 四 均 一

馬

會商業二



結核

止血作用を具備する
脾臓ホルモン療法
(実験に限り)
(文獻呈報)

咯血を伴ふ肺結核、腸出血を伴ふ腸デブス等を用ひ特殊免疫体の產生を促進すると共に止血の効あり其他肝臟脾臓疾患に實用盛なり
特殊免疫体產生促進劑

スプレノゲン

（東京）廣田薬房 （大阪）廣田三友堂製法藥業有限（神戸）廣田三友堂製法藥業有限
店 商 吉 友 澤 藤 社 會 公 株
新 牛 玉 濱 本 川 宮 富 家 時 鐘 國 風 島 市 大



常 常

レツ
テル
一枚で
大景品

蜂

補血強壯・疲労恢復

[illegible]

● どうです？ 頭のぐあいは？ ノーシン はキ

四十有餘年六十ヶ國の名醫によりて推察せらる。一回の貼用十二乃至二十四時間有効ノ

人情剃刀の刃
りも薄く
理むるにのみ
にして齒には
ほむね口を閉



朝鮮おみやげ

會
式身角

コムベルト

ハイフレックス
マンタ
ロ

濱田鐵工製造株式會社(本館前)
湯澤商店
京都府古市町四三
電話本局六二七

特製フオートアルバム……
文房具セツト……
旅行用空嚢枕……

	(A) B・U・P おおりの「正風」
	(C) 等千種(金糸)
御國千種(金糸)用素袋券	一枚
子作半端(毛布)	一丈
襦袢・袴(毛布)	一丈
襦袢・袴(毛布)	一丈
襦袢・袴(毛布)	一丈
仕立用素袋券	一枚
本セル地	一丈
火鉢	一箇
八咫鏡布地	一箇
ハシドバウタ	一箇
セツロウメダラ	一箇
新羽織・新袴	一箇
新羽織・新袴	一箇
新羽織・新袴	一箇
新人着	一箇
セツワサフタ	一箇
車レリアノ	一箇
車レリアノ	一箇
クラゲヤス	一箇
特選フオートアルbaum	一箇
大風呂セツト	一箇
敷居用素袋	一箇
御應需者全部へ	
寶丹	二包
(定価一千圓四)	
洩れなく呈上	

共

東京・室町
三共株式會社

地獄道
入替り十二時八分

活日活日 館楽

マネキ			時
表	間	時	
同三	同二	同ー	
7:00	3:00	11:30	ス
7:10	3:10	11:40	魂
8:25	4:25	12:55	ス
8:45	4:45	1:15	婚

座日章

竹久千恵子、逢初夢子
禍 (前掲) 福
パシマウント本年度超
大作 ルウペン・マム
ウリアン監督
たくましき男

四月廿四日
公祭・讀經・朝日
ス(安部郷車)
軌道支那
事變ニユース
一キ一島津傑次
生の初旅
毛羽崎子主演
一キ一源一坐座
天吉松
太蘭、松平龍
金三拾錢
怪名人の湯者

花	二	小	大	金	料	日	六	十	至	日	二十
2.20		10.30				ナ		モ		ラー	
8.40		11.50				報特變事那支					
		(スーニ社各賣日朝知大日京)									
日三	十	日二	18.30	4.20	0.20	春の故兒					
四上		8.30	4.20	0.20		関勝の姓女					

エーレン大興行
イゲキ
シヨウウ
ナジ スピート
日間普り上演
ワに、歌舞伎に
シヤズに、兩
別段に
劇樂劇に
助旦舞鏡
日の境地を行く
外三十個均一

東京城劇場

[illegible][illegible]

間日四——でまひ七ト、一り上日四ト
漢字子禮見北、音呂四高 記 昌 繁 術 劍
スーユニ變事那支日朝
漢自代光馬水、兼 音 笠 し 替 は び 仰
殊ト生事小、殊ト二部最大○
備定の東嶽管缺○ した替入回三り上正日毎○

新修家系圖
正興芳壽蟻在力松梅ミ干ツカ津判
以備入太子治子存秋正王ヤテ親樂ニシテ大

名人大會
月日
時分
致しまし
上り

朝日堂
印

十四日(七月七日)開演
 新喜劇團 大入正〇統
 東洋新喜劇團 作
 原作 池田忠雄 監修
 入江たか子、今田枝子
 竹久千恵子、浅茅陽子
 福(福) 福(福)
 パラマウント本年度大
 作! ムンスタ・ママム
 ウリッパ 監督
 たくま! き男
 東大俳優
 友柳罪變ニユ
 ーヌ
 パキ映画彩色装置
 ロンギヤの映画
 風車小屋

國月日切
 公海讀賣(朝日)
 ス(安部樂事)
 軌道支那
 車變ニユス
 イギ島津次大
 生の初旅
 毛刺障子連演
 キー源一藍
 天吉松館
 天吉松館
 金三拾銭
 の割引

一均残十二人小残十三人大金料	日六十至日二十	市
6.30 2.20 10.30	ナ	モ
7.50 3.40 11.50	親特變事那支	二
	(スーニ社各業績日朝毎大日)	
開日兩日三十日二十	8.30 4.20 0.20	春の故兒
らか日四上	8.30 4.20 0.20	開勝の性女
	三	四

[illegible]

松竹キネマ			上映日二十		
表	間	時			
同三	同二	同一			
7:00	3:00	11:30	ス	ユ	賣
7:10	3:10	11:40	魂	靈	上
8:25	4:25	12:55	ス	ユ	日
8:45	4:45	1:15	婚	結	達
					潮
					外
					號
					坐

是が花
うでい

裏の争戦

集録實話實ホタ特

天樂村西

婦物語
ツク敗戦手
戀の十字
タスパイ
退の因
艦隊來
塹壕に

聖母さん

我の希望
の實現
に立つ

すくなく立つ
支那語會話と
必要單語

砲火

列傳…北村小松


參謀ヘンチ中佐

航祕録…ボリトウスキー

於ける一佛兵士の手記

第四輯
特輯
日據點
一チ力配
機械化兵
赤軍の
聯るが誇
國防飛
山嶽

☆空中戰のやり方
 陸軍少將 大場彌平
 型 聯軍備作戦
 團の裝備
 盾作戦を衝く
 赤色空中兵團の全貌
 行家協會の組織を暴く
 苦闘を
 語る
 部隊長
 陣中
 座談會
 我が察哈爾山西
 作戰部隊を大同
 に訪ねて得た歴
 史的な大座談會
 出席者 山本實彦 林房雄
 尾崎士郎 榊山潤
 東京市麹町區内幸町
 文藝春秋社
 振替東京
 一七六〇三

<p>  </p> <p> 朝鮮貯蓄銀行 </p>	<p> 金積產租 金預管貯 </p>	<p> 皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋 原城東金町人口 日本生市 診費 土一 時半 マチ度 ヲ </p>
---	---------------------------------------	--

く ど け さ

酒の毒しけ

上戸も下戸も
此一壺が力だ

とは、夫こそ唯の一度でも
経験された方の偽らぬ告
白です。又美味くも飲まず
錠剤ですから服用にも攜帶にも便利

通廉症候

酒の悪酔、酒の過飲、宿酔、
餅や菓子等の過食等
に因る胃酸過多症、
急性胃加害兒、惡心、嘔吐、胃痛、吐瀉症。

みつわ・さけのどくけし



ミルフリ制酸錠

本國の名産薬店にあり、最著しく品質
第一の故には本藥より良質、小瓶（各五粒入）
（大瓶十粒入）を二種にす。（各五粒入）

○ミルフ石鹼本舖 東京・銀座 丸見屋商店・藥品部

26
20

占領した後に平和

ぞろくど部落民歸來す

名譽の戦傷將校に

戰場を聞くの會 8

松田　日本では、あつてはよくと／＼送れるが、戦後ばかりでなく／＼これ等のので食糧をどうにかするの
馬場大尉　平癒の難報といふことがなく／＼ぬらまゐりです。昔、山出山出来た時はどうもしづかたないですが、何人でも人の話聞くやうな時は人に押し分けてゆくが、併しあとでここに乗り合つていふことを前以つてきるものといふ事です。
松田　支那人は腹を空く時は絶對に走らないといふことを誇るとしてゐて、支那で走るのは日本人ばかりと言つて足が早いと思へば、その實に足が早いのである。(二人笑)
馬出大尉　支那の夜つてる時は、その言葉に通せんべんだら二、三米よりたちまち判つたりくなりやうかゝります。
矢野　押合つて武裝解いて終つたら大になるのをやう。
馬場大尉　便衣兵民かはさを見れば指を見たりしなければ知らんたりますかゝります。
松田　支那人は逃げる時は銃を捨ててゐるやうか。

馬場大尉　重々進捗の時
矢野　馬場の如きは戦利品の日本軍が直ぐ使ひます。
立石中尉　支那の武器はチニツコ裏で、弾が合はぬので使ひません。弾頭を直してよくからそれで使つてもあるやうです。榴弾のやうなのは直ぐそこで用ひます。
馬場大尉　支那人の兵器に對する敵意は特別以上で、身から兵器といふ位せうなものは、死體取寄の早いといふのも

堅忍持久協力以て

時艱克服を期せよ

詔書奉讀式で南總督訓三

本社寄託金

十月十二日取扱

皇軍慰問金（芳名の敬稱を略す）

二十圓 京城府本町五丁目
内坪公立普通學校

朝鮮防空器材献金

百圓	京城府黃金町一ノ二	三十圓	大林組京城
六七	朝鮮中央米油株式會社		

各種事務の改善

總監から通牒

常時 江原道を往く

[illegible]

鮮米移出旺盛

前年の五割も激増
 率は例年より
 れてしまつた、我

越中、群馬地方に於ける發見
の進行に伴ふ化學工業及び海
上旬 二六、八
二六、八
合計 二六、八

傷つける愛馬を抱いて

第一單元

勇士、涙の看護

山一谷核によす南

餞別を全部献金

來油會社全員

終つたのだ

タ刊後の

[illegible]

本町(古井坂停留所前)

許
装
丁
馬
真
奈
オ
二
時
六
分
朝
日
井
の
一
店
ホ
へ

